

市が実施するがん検診を受診するためには、自分で申し込む必要があります。  
 検診には保健センターで実施する集団検診と、ふじみ野市・富士見市・三芳町の検査実施医療機関

## 受診するには

がん検診をはじめとする各種検診（健診）は、勤務している職場が実施していれば、そちらで受けられます。それ以外の人は市が実施する検診を受けることができます。

**国が推奨する5つのがん検診**  
 胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん。  
 この5つのがんを見つけるための検診は、死亡率を減少させる効果があると国が認めています。

**受診のための費用**  
 検診費用の一部または全部が市が負担しているため、無料、または安く（500～3000円）受けることができます。

子宮頸がん検診の一部の対象者と個別乳がん検診の対象者には無料のクーポン券を送付しました。

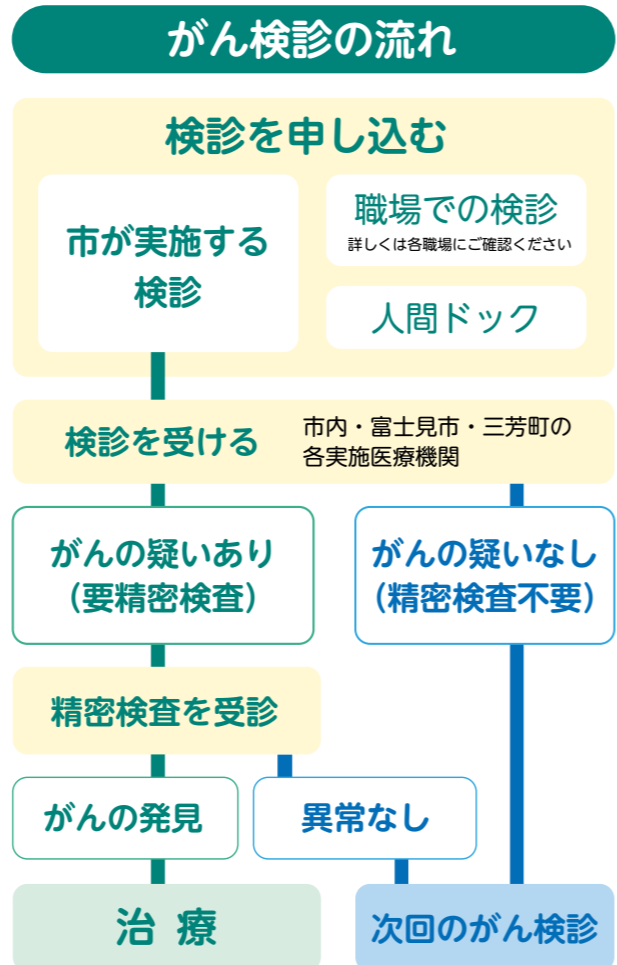


で受診する個別検診があります。申し込みから受診、精密検査などの流れは「がん検診の流れ」（下図）のとおりです。検診の種類ごとに推奨されている期間に、定期的に受診することこそが大切です。とりあえず1回受けたらもう大丈夫と、一度の検診で安心せず、継続して受診しましょう。個別検診を実施している医療機関や申込方法の詳細は、市ホームページ（QRコード）をご覧ください。だくか、市報4月号と一緒に配布した「ふじみ野市令和3年度健康カレンダー」をご覧ください。

## ▼ 国が推奨する5つのがん検診

種類	検査方法	推奨間隔	対象年齢
胃がん検診	問診 胃部エックス線検査 いずれか 胃内視鏡検査	2年に1回	50歳以上
肺がん検診	質問（問診） 胸部エックス線検査 喀痰細胞診（50歳以上で喫煙指数600以上の人）	年に1回	40歳以上
大腸がん検診	問診 便潜血検査	年に1回	40歳以上
乳がん検診	問診 マンモグラフィ（乳房エックス線検査）	2年に1回	40歳以上（女性）
子宮頸がん検診	問診、視診、内診 細胞診	2年に1回	20歳以上（女性）

※ 40歳以上を対象とした胃部エックス線検査による胃がん検診は、年に1回の間隔となります。



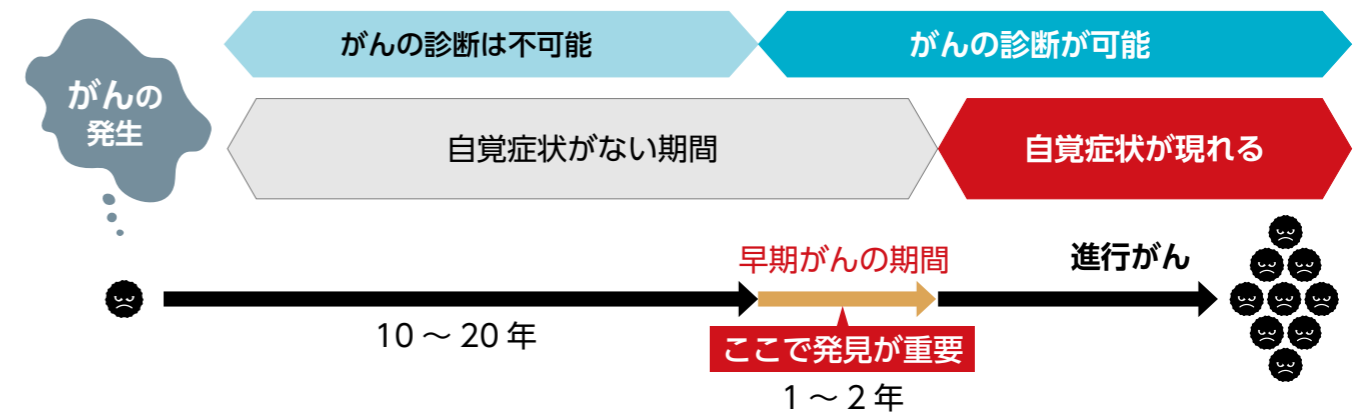
# 特集 受けて安心がん検診

毎年6月1日～11月30日実施 保健センター（☎049・262・9040）

日本人の2人に1人が、一生のうちに何らかのがんにかかると推計されています。また、がんは昭和56（1981）年から、日本人の死因の第1位となっていて、死因全体の約3割を占めています。新型コロナウイルスの影響で外出する機会が減っても、がんにかかる可能性は変わりません。早期発見のため、ぜひ受診しましょう。

一般的に、体内に発生した1個のがん細胞は、目立った症状が無いまま増え続け、10～20年かけて1cm程度の大きさの塊になるといわれています。1cm程度の塊になる前では、がんを見つけることはほとんどできません。症状がなく、がん細胞がまだ1～2cm程度で、進行がんになる前の時期が「早期がん」の時期です（下図）。この段階でがんを発見できると、治療率が非常に高くなります。早期がんの時期は1～2年程度です。がん検診の役割は「早期発見」です。つまり「検査で発見できる大きさのがんではあるものの、まだ症状が無い状態のがん」を見つけることが重要です。自覚症状がないうちに、定期的に検診を受けることが、早期発見のために欠かせません。

## がんは早期発見がカギ



元気・健康ポイント対象



市が実施する各種がん検診は、元気・健康マイレージの対象です。

## がんの予防は生活習慣から

がんにかかるリスクは、健康的な生活習慣の実践で減らすことができます。

毎日続ける  
がん予防



### 5つの健康習慣

がんになるリスクを減らす健康習慣  
がんにかかる原因は生活習慣、体質（遺伝）、細菌・ウイルス感染などがあり、これらの要因が重なることでリスクが高まるといわれています。

「5つの健康習慣」を心がけ、健康的な生活習慣を実践することでリスクを下げるすることができます。

## 健康を守る その他の検診・健診

健康を守る  
検診・健診

★ 各種がん検診以外にも検診（健診）を実施しています。受診した人には、元気・健康マイレージポイントが付きます。

- **胃がんリスク健診（A B C D 検診）**  
対象 本年度中に41歳になる人  
費用 500円
- **肝炎ウイルス検診**  
対象 本年度中に40歳以上になる人で、過去に受けたことがない人  
費用 無料（全額公費負担）  
※市が行う肝炎ウイルス検診は一生に1回のみ。
- **生活保護受給者の健康診査**  
対象 生活保護を受給している本年度中に40歳以上になる人  
費用 無料（全額公費負担）  
※保健センター窓口で受診票を配布しています。



### 特定健康診査・健康診査

☎ 049-262-9042

本年度から特定健康診査も無料になりました

市の国民健康保険に加入中の40歳以上の人を対象に「特定健康診査」、後期高齢者医療制度加入者を対象に「健康診査」を実施しています。

本年度から特定健康診査も無料で受けられるようになり、対象者には受診券を発送しました。受診期間 6月1日(火)～11月30日(火) ※詳しくは送付したパンフレットをご覧ください。

### 健康カレンダー

がん検診のほか、予防接種や健康講座などのご案内を記載した「健康カレンダー」も併せてご覧ください。



## がん検診の対象・内容・受診間隔

検査は  
こんな感じ  
です

国が効果を認めている5つのがん検診の内容を紹介します。感染症対策を徹底して実施していますので、安心して受診してください。

### 肺がん検診

#### ●肺がんとは

男女とも、死亡数が一番多いがん。喫煙者でなくても注意が必要です。

#### 内容

胸部エックス線検査（レントゲン）と質問（問診）により行います。

対象年齢 40歳以上の男女

受診間隔 1年に1回



### 胃がん検診

#### ●胃がんとは

50歳を超えるとかかりやすくなり、男性に多い傾向があります。

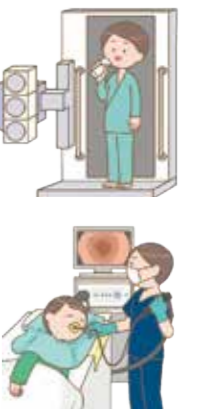
#### 内容

胃部エックス線検査（バリウムを飲んで行う検査）または、内視鏡検査（胃カメラ）と問診により行います。

対象年齢 50歳以上の男女

※胃部エックス線検査は40歳以上が対象。

受診間隔 2年に1回



### 乳がん検診

#### ●乳がんとは

40～60歳代の女性がかかる率が高いがんです。

#### 内容

乳房エックス線検査（マンモグラフィ）と問診により行います。

対象年齢 40歳以上の女性

受診間隔 2年に1回

※本年度中に41・46・51・56歳になる人には、無料クーポン券をお送りしています。



### 大腸がん検診

#### ●大腸がんとは

結腸がんと直腸がんの2種類あり、40歳から増え始めるがんです。

#### 内容

便潜血検査（検便）と問診により行います。

対象年齢 40歳以上の男女

受診間隔 1年に1回

### 子宮頸がん検診

#### ●子宮頸がんとは

20歳後半から増加する、子宮の入口近くに行えるがんです。

#### 内容

問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診により行います。

対象年齢 20歳以上の女性

受診間隔 2年に1回

※本年度中に21歳になる人には、無料クーポン券をお送りしています。



### がん検診の注意点

▶ **がん検診では、がんが100%見つかるわけではありません**

どんなに優れた検査でも、がんを見逃してしまう可能性があります（偽陰性）。

▶ **不要な検査や治療につながることもあります**

結果的にがんはないのに「がんの疑いあり」という判定が出たり（偽陽性）、健康や命に影響することがない微小ながんが発見されたり（過剰診断）することがあります。

▶ **偶発的な事故のリスクがあります**

ごくまれにですが、内視鏡検査で腸や胃を傷つけてしまうなどの事故が発生することもあります。